

京都市グリーン産業振興ビジョンの概要

グリーン産業

グリーン産業は、国際的に強みを持ち、今後、世界中に需要が見込まれる成長分野

京都市の政策目標

- 京都経済の活性化と安定した雇用の創出に資する産業育成
- 原子力発電に依存しない持続可能なエネルギー社会の実現

グリーン産業において京都の強みを最大限生かし、ものづくりの観点から、京都市の政策目標を実現

グリーン産業の特徴・課題

- 国内外の法律・制度に影響を受ける
- 技術進歩等の動きが早い分野
- 産業展開として裾野が幅広い分野
- コスト面は中長期的な視点が必要 など

グリーン産業振興ビジョン策定

省エネ・創エネなど幅広い分野において
・これまで取り組んできた事業の発展
・京都の強みを生かした新たな取組支援

京都の強み

- 優れた研究成果を有する大学等の集積
- 幅広い分野でのものづくり企業の集積
- 産業支援体制の強固な基盤
- 京都のブランド力と進取の気風 など

施策の方向性

産学公連携によるプロジェクトの推進
＜新たな価値創造に向けたプロジェクトの展開＞

ベンチャー・中小企業への総合的支援
＜中小企業等の強みを伸ばす支援策＞

人材・企業の集積促進
＜産業振興拠点の多様な資源の活用＞

京都ならではのスマートシティの構築
＜民間の知恵・技術を活用しムダのない魅力ある社会へ＞

目指すべき姿

ベンチャー・中小企業が持てる力を発揮することにより、京都経済に活力を与え安定した雇用を創出する。併せて、大学の発展にも貢献し、我が国の産業競争力強化の一翼を担うとともに、環境・エネルギー問題の解決に寄与していく。

* 2020年度までに ◇プロジェクト 50件創出 ◇Aランク認定 30社増 ◇オスカー認定 30社増 ◇企業集積数 50社

資料 5-1

産学公連携によるプロジェクトの推進

京都の強み

○ 最先端の研究成果を有する大学等の集積

○ 高い技術力を有する製品開発型企业群

○ 地元に着し事業活動を支援する金融機関

○ プロジェクトをまとめる産業支援機関の存在

企業間連携

産学連携

実績

京都の大手企業、ベンチャー、大学の連携体にて携帯型燃料電池を開発

多様な連携によるプロジェクトの創出・推進

実績

「京都環境ナノクラスター」にて半導体デバイスの量産化を実現

産学公の多様な連携によるプロジェクトの組成・推進

- 大学、大企業、ベンチャー・中小企業、金融機関、産技研、ASTEM等の産学公連携により自主的な「連携体」を立ち上げ、事業化に向けた新たなプロジェクトを組成
- バイオマス産業都市構想を策定し、産学公による事業化プロジェクトを推進（木質バイオマスエネルギーの利用、都市油田発掘プロジェクト、バイオ軽油）

【先導的施策】

○京都市成長産業創造センターでのプロジェクト推進

- ◇ エネルギー原料となるガス（水素、メタン、二酸化炭素など）を貯蔵・分離・変換する材料開発
- ◇ エネルギーの貯蔵・輸送媒体であるアンモニアを太陽光熱で合成するための高温蓄熱媒体の開発 など

オール京都体制による革新的なプロジェクトの推進

国の競争的資金を活用した革新的な研究開発プロジェクトについて、ベンチャー・中小企業も技術力やノウハウに応じて参画を得て推進

【先導的施策】

- スーパークラスタープログラム（(独)科学技術振興機構）
「クリーン・低環境負荷社会を実現する高効率エネルギー利用システムの構築」
 - ・ 省エネ効果大きい SiC（炭化ケイ素）半導体デバイスの社会実装と、これに伴う産業競争力の強化
- 地域イノベーション戦略支援プログラム（文部科学省）
「京都次世代エネルギーシステム創造戦略」
 - ・ 二酸化炭素のエネルギー利用など、省エネ・創エネ・蓄エネに資する革新的な技術開発

人材・企業の集積促進

京都の強み

イノベーション創出の多様な産業振興拠点

資源

- 意欲的なベンチャー・中小企業の集積
- 共用可能な最先端の計測・分析・加工機器
- 多彩なネットワークのコーディネータ

京都大学をはじめとする大学・研究機関

桂イノベーションパーク

- 元 JST イノベーションプラザ
- 京大桂ベンチャープラザ
- ◇ 先端光加工プロジェクト
「知恵の輪」

京都リサーチパーク

- 京都高度技術研究所
- 京都市産業技術研究所
- 京都産業21
- 京都府中小企業技術センター

らくなん進都

- 京都市成長産業創造センター

けいはんな

- 旧「私のしごと館」
- ◇ 次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト

産業振興拠点の「資源」を最大限活用

*らくなん進都など ものづくり産業等の集積地にて地域の特性を生かした魅力ある立地環境の提供

産業振興拠点の有効活用と集積の促進

- 各拠点の共用機器の活用を通じた技術力向上やコーディネータの支援を通じた技術の深掘り・ネットワーク拡大等
- 拠点間の連携により、情報交換・人材交流を促進させ、拠点の活性化を図るなど相乗効果を発揮

産業振興拠点における人材育成事業等の活用

グリーン産業振興のための基盤を強固にするため、各拠点において様々な視点から人材育成事業を実施

【先導的施策】

- 拠点連携会議の創設【新規】
- グリーン関連の人材育成事業の創設・推進【新規】
大学生、大学院生や若手の社会人を対象とした人材育成事業
- コーディネータの能力向上のための人材育成事業の推進
- コーディネータの連携強化のためのネットワーク形成事業の推進
コーディネータを組織化し、日常的な情報交換により強みが一層発揮できるよう、ネットワークを構築

京都ならではのスマートシティの構築

京都特有の様々な課題

- ・ エネルギーの最適化
- ・ 地震や水害など防災に強いまちづくり
- ・ 京都らしいすまいの文化の継承と発展
- ・ 交通渋滞の解消と歩いて楽しいまち
- ・ 観光都市としての質の向上 など

情報通信技術の有効活用
(ICT)

- ムダのないスマートな社会システム
- 市民の生活の質 (QOL) の向上
- 都市の品格と魅力を高める

企業の知恵・技術を最大限活用・移転

市民・観光客にとって
「利便性・快適さ」「安全・安心」

先端技術による安心・安全、ムダのない社会の実現

○「スマートシティ京都研究会」等によるプロジェクトの組成
企業等からの提案をもとに、地域の課題を解決するため、新たなプロジェクトを組成

○岡崎地域におけるエリアブランドの向上へ貢献

- ① 岡崎地域エネルギーネットワークの構築
公共施設間のエネルギーマネジメントの実践
中期的には地域外へのネットワーク化も視野に検討
- ② エネルギーとエコの「ショーケース化」
「エコ・Zoo」の実現、小水力発電などの実施

環境先進システムの実証の実施

ベンチャー・中小企業が開発した環境先進技術・システムについて、岡崎地域をはじめ京都市域にて実証の場の提供

社会・経営環境の変化に対応した「スマートシティ」の構築

革新的な技術開発や既存システムの変革に伴う、新たな事業展開の可能性等の研究

【先導的施策】

- 岡崎地域エネルギーネットワーク形成実証事業
- 岡崎地域における情報発信
- 京都未来交通イノベーション研究機構(仮称)【新規】

ICTを用いて交通に関する様々な情報を収集・統合し、これらの情報を利活用して、人と物の安全で快適・効率的な移動に資する技術やサービスを開発するための研究を行う。